



ハイメス

# HIMES ニュース

Hokkaido International Music Exchange Society News Letter

Harvest HIMES Vol.1  
現役留学生によるトーク&コンサート  
ゲストアーティスト 第2回エーヴォン・コンサート  
**大久保陽子**  
パリで学ぶ  
人々の心をつなぐ、パリの音楽と文化の魅力を伝える  
海外に暮らす留学生の文化発信の場

2022.7.21thu  
18:30開場 19:00開演  
ザ・ルーテルホール

チケット ¥2,000(一般・全席自由)  
学生・高校生 ¥1,000(一般・全席自由)  
小学生 ¥500(一般・全席自由)  
会場 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号  
お問い合わせ 011-225-7100  
チケット販売 011-225-7100  
HP [www.himess.jp](http://www.himess.jp)

Contents & Program  
【第1部】大久保陽子が語るフランス留学記  
パリでの音楽生活  
パリの生活  
フランスの文化  
【第2部】大久保陽子とピアノのデュオ演奏  
大久保陽子とピアノのデュオ演奏  
大久保陽子とピアノのデュオ演奏



## 海外留学中のコンクール入賞者から学んだ思い

ハイメス常務理事・事務局長 松田 敏一



「夏に一時帰国します。何かハイメスのお役に立てることがあれば」。パリに音楽留学中のクラリネット奏者大久保陽子さんから連絡が来たのは、4月中旬でした。2018年のハイメスコンクール第1位入賞の彼女とは、オンラインインタビューなどを通して広報委員会と交流が続いていました。

そこから、今までにない試みがスタートしました。せっかくの申し出を、ハイメスの活動にも生かそう。札幌で彼女のコンサートを開き、併せてコロナ禍の留学体験を語ってもらい、若手の留学希望者の励みにしたい。音楽とトークに加え、パリの映像も流し、視覚にも訴えよう。夢は膨らむばかりですが、準備期間が短すぎます。

広報委員会と事務局の提唱で、コンサート委員会、コンクール委員会との3委員会提携企画が実現しました。これまで、委員会単独企画が中心だったハイメスにとって、珍しい出来事です。以前から決まっていたが、共演のピアノ演奏は、研修事業委員会の鎌倉亮太委員長なので、4委員会連携と言ってもいいかもしれません。

まず、日程を7月21日、ザ・ルーテルホールと決めました。トークのナビゲーターは、コンクール委員会の阿部博光委員長に引き受けてもらいました。学生は無料と決め、チケット販売やチラシ作成と配布、段取りなど、各委員会が協力しながらの慌ただしい作業が本番まで続きました。

北海道から海外へ羽ばたいた音楽家をバックアップし、更なる実りをもたらしてほしい。そんな願いを込めて「Harvest HIMES」と名付けた当日のコンサートの観客は、老若男女、中でも制服姿の高校吹奏楽部員が目立ちました。質問時間には、海外と日本の音楽環境の違いから、クラリネットの奏法まで、予想以上に多くの声が上がリ、関心の高さを示していました。

「コロナ禍で音楽留学の苦労は多いが、本人の姿勢次第で、もっと大切なことを吸収できます」。トークでの彼女の経験、思いは、若者を中心とした音楽関係者に大きな勇気を与えたに違いありません。

## 第20回ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサートを終えて



＜日時＞ 2022年9月29日(木) 19時開演  
 ＜会場＞ 札幌市時計台ホール  
 ＜出演者＞ クラリネット 松原郁美 ピアノ 佐藤香奈  
 ピアノ連弾 日小田直美・森希美  
 ＜共催＞ 公益財団法人札幌国際プラザ



クラリネットの松原郁美さんと  
ピアノ佐藤香奈さんの演奏



日小田直美さん、森希美さんの  
姉妹によるピアノ連弾

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2019年を最後に開催が中止されていた時計台の鐘コンサートが2年ぶりに開催されました。このコンサートは、ハイメスに新しく入会されたアーティスト会員を中心に構成されるコンサートです。

(公財)札幌国際プラザ様に共催のご協力をいただき、今回で20回目を迎えました。

コンサート前半はクラリネット奏者の松原郁美さん、ピアノ佐藤香奈さんが登場し、技巧的でダイナミックな演奏は会場のお客様も真剣な面持ちで聴き入る姿がみられました。

後半は日小田直美さんと森希美さんによるピアノ連弾の演奏でした。姉妹であるお2人の息の合った演奏で、華やかな音楽が時計台ホールを包み込みました。

例年であれば会場のお客様と一緒に『時計台の鐘』を合唱しますが、今回は感染予防の観点から休止となりました。来年はみなさんと一緒に時計台で歌えることを心から願っています。

## Talking Himes Vol.1 アメリカン・オンライン・フォーラム



▼ハイメス公式YouTubeチャンネル  
 Talking Himes Vol.1  
 アメリカン・オンライン・フォーラム



5年前、アメリカ在住のハイメスコンクール第1位入賞者ジャスミン・アラカワさんと共に、ハイメス特別企画「アメリカン・フォーラム」を開催し、アメリカ音楽留学、音楽家の仕事、キャリアについてなどプレゼンテーションなどを交えてお話しをしていただきました。今年、更にその内容を深めた「アメリカン・オンライン・フォーラム」をハイメスのYouTubeチャンネルでご覧頂けるようになりました。

ジャスミンさんが教鞭をとり活動の拠点を持つフロリダから、樋泉実副理事長のインタビューによる対談「アメリカと北海道に共通するフロンティア精神」の模様と、アーティスト会員の立花雅和さん (Fl.) と小杉恵さん (Pf.) によるアメリカの作曲家バートンの作品、ジャスミンさんは上林裕子作品を演奏し、アメリカと日本の繋がりを演奏からもお楽しみ頂けます。是非ハイメスのYouTubeチャンネルにアクセスして下さい。



【質問】  
 北海道で育ったジャスミンさんにとって  
 北海道のフロンティア精神がDNAとして  
 根付いているのでは？



## 今後の事業予定

### ■第33回ハイメス・ニューイヤーコンサート ～躍動する今 新しい時へ～

<日時> 2023年1月22日(日) 12時30分開宴  
<会場> 札幌パークホテル3階 パークホール  
<出演> 司会 岡元敦司 伊藤千尋  
祝奏 箏 梅宮恵里 尺八 後藤双山 宮城道雄作曲「春の海」

#### コンサート

ソプラノ 高橋茉莉 (第34回ハイメスコンクール最優秀賞) ピアノ 千葉皓司  
J.シュトラウスII 春の声 他

ピアノ連弾 浅沼恵輔・徳田貴子  
ピアソラ リベルタンゴ 他

ソプラノ 高橋茉莉 バリトン 岡元敦司 ピアノ 伊藤千尋  
河邨文一郎作詞 村井邦彦作曲「虹と雪のバラード」

3年振りの開催となるハイメス・ニューイヤーコンサートは、テーマを「躍動する今 新しい時へ」とし、コロナ禍、困難な状況を経験している今だからこそ、気持ちを新たに動き出すんだという強く前向きな想いを込めました。

今回は従来のディナーではなく、ランチタイムの開催です。新年の暖かな日差しが降り注ぐ時間に、みなさんと再開できることを心より楽しみにしております。

### ■〈札幌音楽家協議会&ハイメス〉国際交流コンサート(仮)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け停滞していた国際交流ですが、少しずつ再開し、札幌でも海外アーティストを招いた演奏会が多く開催されるようになってまいりました。

この度、ハイメスと札幌音楽家協議会の共催事業として、ハンガリーの素晴らしい演奏家をお招きし、札幌の音楽家との国際音楽交流コンサートを実施することとなりました。

このコンサートは現在ハイメス国際事業委員会と札幌音楽家協議会実行委員を中心に準備を進めています。

また、本番前日のリハーサルは両団体の会員や学生、一般愛好家の方々を対象にした公開リハーサルも企画中です。

<日時> 2023年2月20日(月) <共催> 札幌音楽家協議会  
<会場> ちえりあホール <特別協力> 札幌コンサートホール (公益財団法人 札幌市芸術文化財団)

<出演>  
ガーボル・ファルカシュ氏 (ピアノ・リスト音楽院鍵盤楽器学部長)  
ゲルゲイ・デヴィッチ氏 (チェロ)  
ハイメスアーティスト会員、札幌音楽家協議会会員

デヴィッチ氏との共演については、ハイメス、札幌音楽家協議会からピアノ・ヴァイオリンの出演者を公募し、ファルカシュ氏との共演プログラムについては両団体の推薦アーティストを委員会において検討、編成いたします。

詳細はハイメスホームページをご覧ください

### ■第54回ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート 「ドイツの偉大な作曲家」

<日時> 2023年3月8日(水) 午後7時開演 <共催> ザ・ルーテルホール  
<会場> ザ・ルーテルホール  
<出演> ピアノ独奏 浅沼恵輔 シューマン 幻想曲 ハ長調 Op.17 第1楽章・第2楽章  
ピアノ独奏 道下 暁 ブラームス 4つの小品 Op.119  
ソプラノ 新関知子 シューマン 愛の歌 Op.51-5 他 ピアノ 橘田由希乃  
ソプラノ 久慈睦子 5つの歌曲 作品107より第5曲「乙女の歌」他 ピアノ 吉野智子

コンサート委員会が担当するザ・ルーテルホール・ハイメスコンサートシリーズは54回目を迎えます。

委員会が企画・提案したテーマに沿ってプログラムを構成し、ザ・ルーテルホールとの共催で開催しています。

今回はブラームスとシューマンの作品を、ピアノ・声楽それぞれの魅力をたっぷりお楽しみいただく予定です。

## 今後の事業予定

### ■第35回ハイメスコンクール<ピアノ部門>

<日時> 2023年3月23日(木) 開催 開始時間未定

<会場> 北広島市芸術文化ホール(花ホール)

<審査委員> (敬称略・五十音順)

委員長 植田 克己(ピアニスト・東京藝術大学名誉教授)

委員 岡本 孝慈(ピアニスト・札幌大谷大学特任教授)

委員 坂田 朋優(ピアニスト・北翔大学講師)

委員 多賀 登(クラリネット奏者・札幌交響楽団事務局長)

委員 樋口 英子(ピアニスト・北海道教育大学岩見沢校教授)

<申込期間> 2023年1月23日(月)～2月3日(金) 必着

<申込方法> ハイメスHP内の申込フォームから上記期間申し込みが可能です。  
またHPから申込用紙のダウンロード(PDF/Word)ができます。



## 広報委員会 アーティスト会員自己紹介動画



ハイメスのYouTubeチャンネルでは、アーティスト会員の自己紹介動画を掲載しています。ドイツで音楽活動中の齋藤宏愛さん(フルート)、ドイツ留学を経て現在東京藝術大学大学院で研鑽を積んでいる横山瑠佳さん(ピアノ)の動画が更新されています。今回の動画はその留学報告を含めた内容となっています。

今後もピアノやクラリネットの会員など、今後も様々なアーティスト会員自己紹介動画の掲載を準備中です。

## お悔やみ

8月14日、ハイメス個人会員・理事の石黒直文さんがご逝去されました。石黒さんはハイメス設立時から運営に多大なご尽力くださいました。演奏会では「ブラボー!!」と大きな声でアーティストを応援してくださり、理事会、総会ではいつも「頑張って!」と叱咤激励していただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

駒ヶ嶺ゆかり

先日、30周年を迎えた「アルテピアッツァ美唄」を訪れ記念講演を伺いました。改めてこの芸術文化交流施設がいかに尊いものであるかを感じました。北海道の炭坑の記憶と安田侃氏の彫刻が醸し出す風景と空間。多くの音楽家達もこの場でインスピレーションを受け演奏をしてきました。ニュースレター15号を手にとると、新企画Harvest HIMESをはじめ、コンサート、オンライン企画など、発信する大切さを感じながら積み重ねてきたハイメスの今の姿が伝わってきます。音楽を通じて新たな視野を養い、ハイメスを応援して下さる方々とアーティストが連携協力し、これまで以上の深まりを持った取り組みを地道に目指す事こそが、北海道に於けるハイメスの役割であると思いました。



ハイメス

検索

<http://www.himes.jp>

企画・製作 ハイメス広報委員会

駒ヶ嶺ゆかり 立花雅和

アドバイザー 樋泉実(副理事長)

松田敏一(事務局長) 立花麻美(事務局)

NPO法人北海道国際音楽交流協会(ハイメス)

〒060-0001

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル6階SIS内

☎011-232-7592/011-232-7793(fax)  
office@himes.jp